

事務事業名	学校利用検討部会開催事業				担当	教育委員会 科学教育センター	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成 5 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	学習指導要領 真岡市科学教育センターの設置、管理及び使用条例						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	10. 科学教育センター費			
事業概要	・学校利用検討部会は、市内23の小・中学校(小学校14、中学校9)が年間を通して円滑にセンターを利用できるよう、翌年度の利用日程について毎年度末にセンターと学校側が調整、検討する会議である。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 ・市内小中学校の教務主任23名で運営し、科学教育センター利用学習日を決定した。県、郡、市内の行事及び各学校の行事を検討・調整しながら計画を立てた。 2年度計画 ・前年度と同様に計画している。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	会議開催回数	回	2	2	2	2	2
	イ							
	ウ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・学校利用検討部会員	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	小学校教務主任数	人	18	18	14	14	14
	イ	中学校教務主任数	人	9	9	9	9	9
	ウ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・小中学校の児童生徒及び教職員が円滑に科学教育センターを利用できるようにする。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	円滑な利用を図れた小学校の割合	%	100	100	100	100	100
	イ	円滑な利用を図れた中学校の割合	%	100	100	100	100	100
	ウ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒の育成	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	とちぎっ子学習状況調査で理科の授業内容がよくわかると答えた割合【か4】	%	89.6	87.6	87.4	92.7	93.0
	イ	とちぎっ子学習状況調査で理科の授業内容がよくわかると答えた割合【か5】	%	91.2	92.9	90.5	93.3	94.0
	ウ	とちぎっ子学習状況調査で理科の授業内容がよくわかると答えた割合【中2】	%	82.5	83.6	79.7	87.4	88.0

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	3	3	3	3	
	事業費計(A)	千円	3	3	3	3	
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	120	120	120	120
		人件費計(B)	千円	498	498	500	485
トータルコスト(A)+(B)		千円	501	501	503	488	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・各校のセンター利用に際し、各学校の行事等と重複せず、公平に利用できるよう、各学校・クラス及び学年の利用日程を調整するために開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・学習指導要領では、当センターのような科学館や博物館等を利用した学習が推奨されている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・市内小中学校教務主任が全員集まって日程調整するので、短時間でスムーズに調整ができてよいという意見が多い。